

令和2年度

第2次府中市子ども・子育て支援計画
進捗状況等報告書

府中市

目 次

1	報告書の概要について	・・・1
2	令和2年度の計画進捗状況と評価等について	・・・3

目標 1 地域で安心して出産し、子育てができる環境の整備		本資料の 掲載ページ数	計画書の 掲載ページ数
	施策1 情報提供・相談体制の充実	4・5	28・29
	主な事業 1 利用者支援事業(★)	4	
	2 子どもと家庭の総合相談事業	5	
	3 子育て情報等推進事業	5	
	施策2 地域における子育て支援	6～8	30・31
	主な事業 4 地域子育て支援事業	6	
	5 子育てひろば事業(地域子育て支援拠点事業)(★)	7	
	6 地域子ども・子育て応援事業費補助金	8	
	施策3 母子保健の充実	9～12	32・33
	主な事業 7 母子保健手帳交付事業	9	
		8 妊婦健康診査事業(★)	
		9 新生児訪問事業(乳児家庭全戸訪問事業)(★)	
		10 妊産婦育児教室事業	
		11 定期予防接種事業	
		12 産前産後家庭サポート事業	
		13 産後ケア事業	
目標 2 質の高い幼児期の教育・保育の提供		本資料の 掲載ページ数	計画書の 掲載ページ数
	施策4 質の高い幼児期の教育・保育の提供	14・15	34・35
	主な事業 14 保育支援者巡回支援事業	14	
	15 保育施設等指導検査事業	15	
	16 多様な事業者の参入促進・能力活用事業	15	
	施策5 保育所等待機児童の解消	16～18	36・37
	主な事業 17 教育・保育の提供(☆)	16～18	
	施策6 多様な保育ニーズへの対応	19～23	38・39
	主な事業 18 延長保育事業(時間外保育事業)(★)	19	
	19 一時預かり・定期利用保育事業(★)	20	
	20 預かり保育事業(★)	21	
	21 ショートステイ(子育て短期支援事業)(★)	21	
	22 トワイライトステイ(子育て短期支援事業)(★)	22	
	23 ファミリー・サポート・センター事業(子育て援助活動支援事業)(★)	22	
	24 病児・病後児保育事業(病児保育事業)(★)	23	

目標 3 ひとり親家庭への支援		本資料の 掲載ページ数	計画書の 掲載ページ数
	施策7 ひとり親家庭の自立や就業への支援	26	40・41
	主な事業 25 ひとり親家庭自立支援相談事業	26	
	26 ひとり親家庭自立支援事業	26	
	施策8 ひとり親家庭の経済的負担の軽減	27	42・43
	主な事業 27 ひとり親家庭等対象手当支給事業	27	
	28 ひとり親家庭等医療費助成事業	27	
目標 4 配慮が必要な子どもと家庭への支援		本資料の 掲載ページ数	計画書の 掲載ページ数
	施策9 児童虐待防止対策の推進	30・31	44・45
	主な事業 29 育児支援家庭訪問事業(養育支援訪問事業)(★)	30	
	30 要保護児童対策地域協議会運営事業	30・31	
	31 児童虐待防止の普及啓発事業	31	
	施策10 障害児施策との連携	32・33	46・47
	主な事業 32 障害等の早期把握・早期対応	32	
	33 保育所及び学童クラブにおける障害児の受入れ	33	
目標 5 青少年の健全育成		本資料の 掲載ページ数	計画書の 掲載ページ数
	施策11 小学生の放課後の居場所づくり	36・37	48・49
	主な事業 34 学童クラブ事業(放課後児童健全育成事業)(★)	36	
	35 放課後子ども教室事業	37	
	施策12 青少年健全育成活動の推進	38	50・51
	主な事業 36 青少年健全育成事業	38	
	37 青少年総合相談運営事業	38	
目標 6 子育て家庭の経済的負担の軽減		本資料の 掲載ページ数	計画書の 掲載ページ数
	施策13 生活に関わる経済的負担の軽減	40	52・53
	主な事業 38 児童手当支給事業	40	
	39 子ども医療費助成事業	40	
	施策14 幼児教育・保育に関わる経済的負担の軽減	41・42	54・55
	主な事業 40 認可外保育施設入所児童に関する補助事業	41	
	41 私立幼稚園等就園児に関する補助事業	41	
	42 実費徴収に係る補足給付を行う事業	42	

1 報告書の概要

(1) 作成の目的

本報告書は、子ども・子育て支援法（以下「法」といいます。）に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画としての位置付けを有し、府中市子ども・子育て支援計画（平成27年度～平成31年度）の計画期間満了を迎えるに当たり策定した、第2次府中市子ども・子育て支援計画（令和2年度～令和6年度）の進捗状況について、広く市民に公表することを目的として作成したものです。

(2) 計画の内容について

第2次府中市子ども・子育て支援計画には、計画期間5年間に推進していく具体的な施策内容や目標値を記載しており、6つの施策目標に連なる14の施策ごとに「現状と課題」を整理し、「施策の方向性」と「重点的取組」を示しています。また、法に基づく教育・保育施設等や地域子ども・子育て支援事業に位置づけられている事業については「市町村子ども・子育て支援事業計画」（以下「事業計画」といいます。）として、計画期間中の目標事業量とその確保方策を示しています。

(3) 評価方法について

計画において、「重点的取組」及び「事業計画」として位置づけた事業について、令和2年度の実績とそれに対する担当課評価、今後の課題・展開等を取りまとめ、本市の附属機関である府中市子ども・子育て審議会に報告し、意見聴取を行いました。

2 令和2年度 の計画進捗状況と評価について

目標 1 地域で安心して出産し、子育てができる環境の整備

施策1 情報提供・相談体制の充実

- 主な事業
- 1 利用者支援事業(★)
 - 2 子どもと家庭の総合相談事業
 - 3 子育て情報等推進事業

施策2 地域における子育て支援

- 主な事業
- 4 地域子育て支援事業
 - 5 子育てひろば事業(地域子育て支援拠点事業)(★)
 - 6 地域子ども・子育て応援事業費補助金

施策3 母子保健の充実

- 主な事業
- 7 母子健康手帳交付事業
 - 8 妊婦健康診査事業(★)
 - 9 新生児訪問事業(乳児家庭全戸訪問事業)(★)
 - 10 妊産婦育児教室事業
 - 11 定期予防接種事業
 - 12 産前産後家庭サポート事業
 - 13 産後ケア事業

目標 1 地域で安心して出産し、子育てができる環境の整備

施策 1	情報提供・相談体制の充実	計画書の掲載頁	28・29
施策の方向性	出産や子育て支援に関する情報提供については、引き続き子育て情報誌「子育てのたまたま箱」や子育てサイト「ふわっと」などを活用して、内容の充実を図ります。 相談体制の充実については、子ども家庭支援センター「たち」及び保健センター母子保健係を中心に、妊娠期から切れ目のない支援を提供するほか、保育ニーズが多様化する中で、教育・保育事業が円滑に利用できるよう、保育コンシェルジュによる相談支援を継続します。また、地域子育て支援センター「はぐ」において、利用者支援事業の充実を図り、地域で気軽に相談できる体制づくりに努めます。		

主な事業1	利用者支援事業(★)	重 応	子育て家庭が幼稚園や保育所、各種子育て支援事業を円滑に利用できるよう、情報の収集・提供や利用に係る相談支援等を身近な地域で行う事業
-------	------------	-----	---

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
実施箇所数	量の見込み	8か所	8か所	8か所	8か所	8か所	子ども家庭支援課
	実績	8か所					
	差異	0					
子ども家庭支援センター	量の見込み	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	子ども家庭支援課
	実績	2か所					
	【参考】	新規相談受理件数1,667件					
保健センター (子ども家庭支援課母子保健係)	量の見込み	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	子ども家庭支援課
	実績	1か所					
	【参考】	妊娠届による面接件数1,765件					
市立保育所 (地域子育て支援センター)	量の見込み	4か所	4か所	4か所	4か所	4か所	保育支援課
	実績	4か所					
	【参考】	延相談件数180件					
市役所本庁舎保育支援課 (保育コンシェルジュ)	量の見込み	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	保育支援課
	実績	1か所					
	【参考】	延相談件数2,051件					

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
- 1 計画から大幅な遅れがあった。
- 2 計画からやや遅れがあった。
- 3 計画通りに事業を実施できた。
- 4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3					子ども家庭支援課 保育支援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	月に1回、利用者支援事業の実施施設による地域連携会議を開催し、提供する情報の質の向上を図った。 また令和2年度から、新たに「はぐ」ひがし及び「はぐ」すみよしを開設し、地域子育て支援事業の拡充を図ることができた。					
課題・ 今後の展開	地域子育て支援の拠点である、地域子育て支援センターの機能を活かし、在宅で子育てをしている家庭が参加しやすくなるよう、利用者のニーズに沿った事業を展開する。 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援をより一層充実させるため、母子保健係と子ども家庭支援センター「たっち」の市職員が行う相談支援を一体的に提供できるように体制を整備します。					
審議会の意見	*****					

主な事業2	子どもと家庭の総合相談事業	応	子ども家庭支援センター「たち」で、子育て中の方や子ども自身からの様々な相談に応じる事業
-------	---------------	---	---

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
子ども家庭支援センター「たち」 新規相談受理件数	実績	1,667件					子ども家庭支援課

(2) 評価

【評価基準】	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
0 評価不能(実績なし)。	評価	3					子ども家庭支援課
1 計画から大幅な遅れがあった。	令和2年度 の評価理由等						
2 計画からやや遅れがあった。	評価理由	児童虐待や、虐待には至らないが養育に課題を抱える養育困難に関する新規相談受理件数が増加した。関係機関と連携して支援を行い、育児不安の解消や子育て支援サービスの利用の円滑化を図った。					
3 計画通りに事業を実施できた。	課題・今後の展開	引き続き、関係機関と連携して支援を行い、育児不安の解消等を通じて児童虐待の防止を図る。					
4 計画以上に事業を実施できた。	審議会の意見	*****					

主な事業3	子育て情報等推進事業	応	出産や子育て支援に関する情報をインターネットや子育て情報誌など多様な媒体を活用して提供する事業
-------	------------	---	---

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
「子育てのたまて箱」発行部数	実績	13,000部					子育て応援課
子育てサイト「ふわっと」アクセス件数	実績	35,569件					

(2) 評価

【評価基準】	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
0 評価不能(実績なし)。	評価	3(※)					子育て応援課
1 計画から大幅な遅れがあった。	令和2年度 の評価理由等						
2 計画からやや遅れがあった。	評価理由	「子育てサイトふわっと」は、おたよりやお知らせを定期的に配信し内容充実に努めた。子育て情報誌「子育てのたまて箱」は(株)ゼンリンとの協働発行により作成し、より見やすいものとなるよう紙面レイアウト等の変更を行った。					
3 計画通りに事業を実施できた。	課題・今後の展開	子育てサイト「ふわっと」及びアプリについては、周知用リーフレットの市内各施設での配布や母子手帳交付時に配布し、市のメール配信等により、更なる市民周知を図る。子育て情報誌「子育てのたまて箱」については、引き続き分かりやすく活用しやすい情報誌となるよう紙面レイアウト等を工夫する。					
4 計画以上に事業を実施できた。	審議会の意見	子育てサイト「ふわっと」について、内容の充実と周知方法を検討したほうがよい。					

(※)実績数値は減少しているものの、原因が新型コロナウイルス感染拡大というやむを得ない事由であり、目的に沿った事業展開はできたため。

施策 2	地域における子育て支援	計画書の掲載頁	30・31
施策の方向性	子育てひろばについては、在宅で子育てをしている保護者が、地域で気軽に交流できる拠点として、市立保育所（基幹保育所（※））における地域子育て支援センター「はぐ」の整備を進めます。また、拠点区域内の子育てひろばのニーズ量のバランスを取りながら、地域子育て支援事業として文化センター等を活用した子育てひろばを実施するほか、私立保育園の子育てひろばなどを計画的に実施していきます。一方、地域における子育てのネットワークづくりについては、自治会を始めとする地域ネットワークとの連携を図りつつ、地域で子育てひろばや子ども食堂を実施している団体への支援を通して、市民との協働により推進します。		

主な事業4	地域子育て支援事業	重 応	市立保育所（基幹保育所）において、利用者支援事業や子育てひろば事業（地域子育て支援拠点事業）を行うほか、地域における子育て支援を実施する事業
-------	-----------	-----	--

（1）実績 ※利用者支援事業、子育てひろば事業（地域子育て支援拠点事業）の実績については、それぞれの事業の実績欄に掲載

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
子育てひろばポップコーン 延参加人数	実績	1,519人					保育支援課
	【参考】	実施個所数 7か所					
子育てひろばすきっぷ 延参加人数	実績	416人					
	【参考】	実施個所数 3か所					
子育てひろばほののぼ 延参加人数	実績	12人					
	【参考】	実施個所数 1か所					
子育てひろばミニほののぼ 延参加人数	実績	0人					
	【参考】	実施個所数 0か所					
子育てひろばぬくぬく 延参加人数	実績	0人					
	【参考】	実施個所数 0か所					
子育てひろばここん 延参加人数	実績	0人					
	【参考】	実施個所数 0か所					
子育てひろばあおぞら 延参加人数	実績	60人					
	【参考】	実施個所数 2か所					
ポップコーン・パパ 延参加人数	実績	299人					
	【参考】	実施個所数 6か所					
保育所園庭開放 延参加人数	実績	2,962人					
	【参考】	実施個所数 13か所					
はじめてアート 延参加人数	実績	70人					
	【参考】	実施個所数 1か所					

（2）評価

【評価基準】

0 評価不能(実績なし)。	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
1 計画から大幅な遅れがあった。	評価	3(※)					保育支援課
2 計画からやや遅れがあった。	令和2年度 の評価理由等						
3 計画通りに事業を実施できた。	評価理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施規模の縮小や予約制の実施など、例年とは異なる対応を行ったため、参加人数が減少したものの、在宅で子育てをしている保護者の不安感や負担感の解消に努めることができた。					
4 計画以上に事業を実施できた。	課題・今後の展開	地域子育て支援の拠点である、地域子育て支援センターの機能を活かし、在宅で子育てをしている家庭が参加しやすくなるよう、利用者のニーズに沿った事業を展開する。					
	審議会の意見	*****					

（※）実績数値は減少しているものの、原因が新型コロナウイルス感染拡大というやむを得ない事由であり、目的に沿った事業展開はできたため。

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
延利用人数	量の見込み	86,009人	81,750人	80,965人	80,159人	79,714人	
	実績	31,626人					
	差異	-54,383人					
	【参考】	実施箇所数 15か所					
	市立保育所(地域子育て支援センター)	実績	11,076人				保育支援課
		【参考】	実施箇所数 4か所				
	子ども家庭支援センター	実績	15,149人				子ども家庭支援課
		【参考】	実施箇所数 2か所				
私立保育園	実績	3,617人					子育て応援課
	【参考】	実施箇所数 8か所					
その他	実績	1,784人					子育て応援課
	【参考】	実施箇所数 1か所					

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
- 1 計画から大幅な遅れがあった。
- 2 計画からやや遅れがあった。
- 3 計画通りに事業を実施できた。
- 4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3(※)					子育て応援課 子ども家庭支援課 保育支援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用時間・人数を制限して事業を実施することになったが、新たに「はぐ」ひがし及び「はぐ」すみよしを開設したことにより、地域生活支援事業の充実を図ることができた。					
課題・今後の展開	安心して子育てができる環境を整備するため、引き続き、感染拡大防止対策を講じながら交流ひろば及びしらとりひろばを行う。 4か所に増えた地域子育て支援センターの機能を活用し、引き続き在宅で子育てをしている親子の支援を図る。 また、令和3年4月に、子育てひろば「ブックントイ」で新たに本事業を開始した。					
審議会の意見	たっちの交流広場については、もう少し予約しやすい方法等を検討してほしい。					

(※)実績数値は減少しているものの、原因が新型コロナウイルス感染症拡大というやむを得ない事由であり、目的に沿った事業展開はできたため。

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
補助金交付団体数							
子育てひろば実施団体	実績	4団体					子育て応援課
子ども食堂実施団体	実績	8団体					

(2) 評価

【評価基準】

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
0 評価不能(実績なし)。	3					子育て応援課
1 計画から大幅な遅れがあった。						
2 計画からやや遅れがあった。						
3 計画通りに事業を実施できた。						
4 計画以上に事業を実施できた。						
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	子育てひろば実施団体についてはひろば開催に係る経費の一部を補助したほか、子ども食堂実施団体については、東京都より緊急コロナ対応策として新たな補助金が交付されたため、それを活用して、従来の子ども食堂の開催に係る経費の補助に追加で補助を行った。					
課題・今後の展開	現状の取り組みを継続しつつ、東京都の動向を踏まえて対応していく。また、子ども食堂等の地域団体との更なる連携を図っていく。					
審議会の意見	*****					

施策 3	母子保健の充実	計画書の掲載頁	32・33
施策の方向性	母子健康手帳交付時の面談や新生児訪問等の様々な機会を捉え、不安や困り事、支援ニーズを把握し、それぞれの状況に応じた支援やサービスにつなぐとともに、妊娠準備期における相談のほか、出産前後の母親への支援の充実及び質の向上を図り、出産や育児に係る母親の負担感の軽減を図っていきます。また、妊産婦健診や、全ての子どもに対する各種健診、予防接種事業が円滑に行われるよう、医療機関等との連携を強化して必要な情報を提供するとともに、継続的なアプローチが求められる家庭に切れ目のない支援を行っていきます。各種教室については、参加者の意見等を参考に内容を充実させていきます。		

主な事業7	母子健康手帳交付事業	重 応	妊娠届を行った妊婦に対し、母子健康手帳を交付するとともに、保健師等の専門職が面談を行い、母子保健型利用者支援事業を併せて実施する事業
-------	------------	-----	--

(1) 実績 ※利用者支援事業の実績については、当該事業の実績欄に掲載

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
母子健康手帳交付冊数	実績	1,790冊					子ども家庭支援課
交付時の面談件数	実績	1,765件					

(2) 評価

【評価基準】	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
0 評価不能(実績なし)。 1 計画から大幅な遅れがあった。 2 計画からやや遅れがあった。 3 計画通りに事業を実施できた。 4 計画以上に事業を実施できた。	評価	3					子ども家庭支援課
	令和2年度 の評価理由等						
	評価理由	体調不良や感染症への不安により、本人が交付を受けられないケースも見られたが、育児パッケージの案内も活用して積極的に面接勧奨を行い、電話等で後日面接を実施することで個々の状況把握を行うことができた。					
	課題・ 今後の展開	引き続き妊娠届出時や転入時の面接を継続し、必要時に支援プランを用いたフォローを行う。新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、不安を抱える妊婦に適切な情報提供や助言を行う。					
	審議会の意見	*****					

主な事業8	妊婦健康診査事業(★)	応	妊婦に対する健康診査として、健康状態の把握、検査計測、保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業
-------	-------------	---	--

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
受診者数	量の見込み	1,893人	1,873人	1,851人	1,829人	1,809人	子ども家庭支援課
	実績	1,771人					
	差異	-122人					
	【参考】	延受診件数 21,096件					

(2) 評価

【評価基準】

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3					子ども家庭支援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	前年よりも受診者数が減少したが、医療機関離れによるものでなく、コロナ禍において妊婦数が減少したことによる減少と考えられる。対象者には必要に応じた医学的検査を実施できた。					
課題・今後の展開	妊婦健診が医療機関で適切に受診できるように引き続き支援していく。					
審議会の意見	*****					

主な事業9	新生児訪問事業 (乳児家庭全戸訪問事業)(★)	応	生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業
-------	----------------------------	---	---

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
訪問人数	量の見込み	1,728人	1,703人	1,695人	1,677人	1,675人	子ども家庭支援課
	実績	1,599人					
	差異	-129人					
	【参考】	延訪問件数 1,867件					

(2) 評価

【評価基準】	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
【評価基準】	評価	3(※)					子ども家庭支援課
0 評価不能(実績なし)。	令和2年度 の評価理由等						
1 計画から大幅な遅れがあった。	評価理由	新型コロナウイルスの影響で新生児訪問を希望しない家庭があり訪問数が減少。しかし、訪問希望なしの場合は、電話で状況確認し子育て支援に関する情報提供をした。					
2 計画からやや遅れがあった。	課題・今後の展開	現行の事業を継続して実施する。訪問未実施家庭には電話やSMSで勧奨し積極的に訪問の案内を行う。					
3 計画通りに事業を実施できた。	審議会の意見	*****					
4 計画以上に事業を実施できた。							

(※)実績数値は減少しているものの、原因が新型コロナウイルス感染拡大というやむを得ない事由であり、目的に沿った事業展開はできたため。

主な事業10	妊産婦育児教室事業	応	妊娠から育児期間中の親子を対象とした各種教室を実施する事業
--------	-----------	---	-------------------------------

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
母親学級 延参加者数	実績	139人					子ども家庭支援課
	【参考】	開催回数9回					
両親学級 延参加者数	実績	477人					
	【参考】	開催回数11回					
離乳食教室 延参加者数	実績	338人					
	【参考】	開催回数56回					
親と子の歯みがき教室 延参加者数	実績	44人					
	【参考】	開催回数4回					

(2) 評価

【評価基準】	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
0 評価不能(実績なし)。	評価	3(※)					子ども家庭支援課
1 計画から大幅な遅れがあった。	令和2年度 の評価理由等						
2 計画からやや遅れがあった。	評価理由	新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令と感染拡大防止のため事業を中止やWeb開催に変更しなければならなかった。そのため開催回数、参加人数ともに前年度と比較すると減少。あたらしい生活様式に合わせ実施した。					
3 計画通りに事業を実施できた。	課題・今後の展開	この状況下が続くことを考え、引き続き人数の調整を行い、感染対策に留意したかたちで実施する必要がある。					
4 計画以上に事業を実施できた。	審議会の意見	Web開催に変更して実施したことは、対面よりオンラインの方が学びやすい場合もあり評価できる。					

(※)実績数値は減少しているものの、原因が新型コロナウイルス感染拡大というやむを得ない事由であり、目的に沿った事業展開はできたため。

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
接種者数							
ヒブ	実績	7,500人					子ども家庭支援課
小児肺炎球菌	実績	7,282人					
BCG	実績	1,842人					
四種混合	実績	7,550人					
二種混合	実績	2,038人					
麻しん風しん	実績	4,155人					
水痘	実績	3,947人					
日本脳炎	実績	9,930人					
子宮頸がん	実績	723人					
B型肝炎	実績	5,400人					
ロタウイルスワクチン	実績	1,674人					

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
- 1 計画から大幅な遅れがあった。
- 2 計画からやや遅れがあった。
- 3 計画通りに事業を実施できた。
- 4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3					子ども家庭支援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	計画どおりに予防接種を実施し、各接種とも例年どおりの高い接種率を維持した。予防接種モバイルサービス「ちっくん」については登録者は順調に増加し、安全な接種の役割を果たしている。令和2年10月からはロタウイルスワクチン接種を定期予防接種として導入した。					
課題・今後の展開	引続き定期接種の安全な実施のため、必要な情報を市民、予防接種実施機関に提供する。					
審議会の意見	*****					

主な事業12

産前産後家庭サポート事業

応

出産前後の妊産婦がいる家庭に援助員を派遣し、家事・育児の援助を行う事業

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
延利用日数	実績	723日					子ども家庭支援課

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
- 1 計画から大幅な遅れがあった。
- 2 計画からやや遅れがあった。
- 3 計画通りに事業を実施できた。
- 4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3(※)					子ども家庭支援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	新型コロナの影響により、月による新規登録申請者数及び利用者数に大幅な差があり、感染不安による利用控えがある。しかし、支援体制を維持し必要な家庭にサービスを提供することができた。					
課題・今後の展開	R3.7月より名称を「ふちゅうママパパ応援隊」に変更。対象世帯や利用時間の拡大、事業者を増やす等、より多くの市民が利用できるよう実施。産前産後の家事・育児負担の軽減を図り孤立化や産後うつを予防し、安心して子育てができる環境を整備していく。					
審議会の意見	*****					

(※)実績数値は減少しているものの、原因が新型コロナウイルス感染拡大というやむを得ない事由であり、目的に沿った事業展開はできたため。

主な事業13

産後ケア事業

応

出産後体調が優れないなどの場合に、産婦が休養できる場所を提供し、助産師によるケアなどを行う事業

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
延利用者数(個別型)	実績	213人					子ども家庭支援課
延利用者数(集団型)	実績	28人					

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
- 1 計画から大幅な遅れがあった。
- 2 計画からやや遅れがあった。
- 3 計画通りに事業を実施できた。
- 4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3					子ども家庭支援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	産後ケア事業個別型については、利用後の満足度が高く、利用者数が大幅に増加した。父が多忙、コロナ禍であることなどから家族のサポートが得られないケースが多く利用している。産後ケア事業集団型を年4回実施し、育児不安軽減や仲間づくりの支援を充実させた。					
課題・今後の展開	現在、4か月未満の児と母に対する支援は手厚いが、児が1歳になるまでの支援が急務である。今後は新たに市内で開設される助産所に産後ケア個別型を委託し、1歳までの児と母が利用できるように拡充していく。					
審議会の意見	*****					

目標 2 質の高い幼児期の教育・保育の提供

施策4 質の高い幼児期の教育・保育の提供

- 主な事業 14 保育支援者巡回支援事業
- 15 保育施設等指導検査事業
- 16 多様な事業者の参入促進・能力活用事業

施策5 保育所等待機児童の解消

- 主な事業 17 教育・保育の提供(☆)

施策6 多様な保育ニーズへの対応

- 主な事業 18 延長保育事業(時間外保育事業)(★)
- 19 一時預かり・定期利用保育事業(★)
- 20 預かり保育事業(★)
- 21 ショートステイ(子育て短期支援事業)(★)
- 22 トワイライトステイ(子育て短期支援事業)(★)
- 23 ファミリー・サポート・センター事業(子育て援助活動支援事業)(★)
- 24 病児・病後児保育事業(病児保育事業)(★)

目標 2 質の高い幼児期の教育・保育の提供

施策 4	質の高い幼児期の教育・保育の提供	計画書の掲載頁	34・35
施策の方向性	幼児期の教育・保育の質を維持・向上するためには、保育士等の人材確保と人材育成が必要です。そのため、保育士等のキャリアアップに向けた研修や処遇改善につながる事業を実施する施設に対して財政支援を引き続き行い、保育士の人材確保に努めるとともに、保育士に対する研修等の充実を図ります。また、保育施設等が関係法令を遵守し、適正な運営を行うとともに、良質な育成環境を維持できるよう、保育支援者巡回支援や指導検査を引き続き実施します。		

主な事業14	保育支援者巡回支援事業	応	特定教育・保育施設等に対し、公立保育所長経験者等が助言・相談などの巡回支援を行う事業
--------	-------------	---	--

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
延巡回回数							
	認可保育所	実績	32か所				保育支援課
	認証保育所	実績	10か所				
	その他	実績	2か所				

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
- 1 計画から大幅な遅れがあった。
- 2 計画からやや遅れがあった。
- 3 計画通りに事業を実施できた。
- 4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3(※)					保育支援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、巡回回数が事前に想定した回数より減少したが、新設園や施設長の変更、苦情や保護者対応に課題を感じた施設を中心に実施した。また、実施できなかった施設には電話での聞き取りで対応した。					
課題・今後の展開	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、適切に巡回を行う。					
審議会の意見	*****					

(※)実績数値は減少しているものの、原因が新型コロナウイルス感染拡大というやむを得ない事由であり、目的に沿った事業展開はできたため。

主な事業15	保育施設等指導検査事業	応	特定教育・保育施設等に対し、関係法令を遵守し、適正な運営をしているかなどについて、指導検査を行う事業
--------	-------------	---	--

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
検査実施施設数							
特定教育・保育施設	実績	25か所					子育て応援課
特定地域型保育事業	実績	3か所					

(2) 評価

【評価基準】

0 評価不能(実績なし)

1 計画から大幅な遅れがあった。

2 計画からやや遅れがあった。

3 計画通りに目標を達成できた

4 計画の目標を超える成果を得ることができた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3					子育て応援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の指導検査について、新型コロナウイルス感染拡大により、実地による検査から一部検査形式を書面検査に切り替えることで、予定通りの検査数を達成した。					
課題・今後の展開	特定教育・保育施設等の指導検査について、これまでの取組を踏まえて継続して実施するほか、認可外保育施設等の特定子ども・子育て支援施設等に対する指導検査を実施し、施設等の適正な運営の確保を図っていく。					
審議会の意見	*****					

主な事業16	多様な事業者の参入促進・能力活用事業	応	特定教育・保育施設等に新規参入する事業者に対して支援を行う事業
--------	--------------------	---	---------------------------------

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
対象事業者数	実績	0					保育支援課

(2) 評価

【評価基準】

0 評価不能(実績なし)。	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
1 計画から大幅な遅れがあった。	評価	0					保育支援課
2 計画からやや遅れがあった。	令和2年度 の評価理由等						
3 計画通りに事業を実施できた。	評価理由	本市においては、現在のところ新規参入事業者の実績はない。					
4 計画以上に事業を実施できた。	課題・ 今後の展開	支援体制を維持し、必要性が生じた場合に適宜検討する。					
	審議会の意見	*****					

施策 5	保育所等待機児童の解消	計画書の掲載頁	36・37
施策の方向性	高い保育需要に対応するため、最新の保育ニーズを踏まえ、引き続き施設整備による定員増を図るとともに、ハード面の対応に限定することなく、保育コンシェルジュによる相談や認証保育所に対する運営面等の支援などソフト面の対応も行い、待機児童の解消を図ります。また、3歳未満児を対象とした地域型保育事業を新たに整備する際には、連携施設や卒園後の受入先等の確保策について検討を進めます。		

主な事業17	教育・保育の提供(☆)	重 応	就学前子どもに対して、それぞれの家庭の状況に応じて必要とされる教育・保育を幼稚園、保育所、地域型保育事業等を通じて提供する事業
--------	-------------	-----	--

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
施設数							
認可保育所	量の見込み	56か所	58か所	57か所	56か所	56か所	保育支援課
	実績	56か所					
	差異	0か所					
幼稚園(特定教育・保育施設)	量の見込み	4か所	3か所	3か所	2か所	2か所	
	実績	4か所					
	差異	0か所					
上記以外の幼稚園	量の見込み	15か所	15か所	15か所	15か所	15か所	
	実績	15か所					
	差異	0か所					
特定地域型保育事業	量の見込み	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所	
	実績	3か所					
	差異	0か所					
認可外保育施設	量の見込み	21か所	21か所	21か所	21か所	21か所	
	実績	21か所					
	差異	0か所					
定員数	※別紙のとおり						保育支援課

(2) 評価

【評価基準】

0 評価不能(実績なし)。	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課	
1 計画から大幅な遅れがあった。	評価	3					保育支援課	
2 計画からやや遅れがあった。	令和2年度 の評価理由等							
3 計画通りに事業を実施できた。	評価理由	施設数については、計画どおり達成できた。また、年齢別、地域別についても、認可外保育施設に若干定員変更の影響があるものの、概ね達成できた。						
4 計画以上に事業を実施できた。	課題・今後の展開	引き続き、待機児童解消に向け、保育コンシェルジュによるきめ細かな相談対応により、保護者のニーズに合った教育・保育サービスを提供に努める。						
	審議会の意見	*****						

教育・保育の提供 進捗管理表（※施策5 主な事業1（1）実績の別紙）

単位: 人

		令和2年度				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
		0歳	1・2歳	3-5歳		0歳	1・2歳	3-5歳		0歳	1・2歳	3-5歳		0歳	1・2歳	3-5歳		0歳	1・2歳	3-5歳	
		保育を希望		教育を希望		保育を希望		教育を希望		保育を希望		教育を希望		保育を希望		教育を希望		保育を希望		教育を希望	
		3号	2号	2号	1号	3号	2号	2号	1号	3号	2号	2号	1号	3号	2号	2号	1号	3号	2号	2号	1号
①量の見込み	計画	525	2,303	2,942	3,798	518	2,223	2,867	3,700	515	2,267	2,718	3,509	510	2,245	2,612	3,371	509	2,228	2,484	3,206
				747	3,051			728	2,972			690	2,819			663	2,708			631	2,575
②確保方策 (定員数)	計画	527	2,254	3,520	4,510	532	2,281	3,556	4,370	532	2,271	3,554	4,370	529	2,261	3,524	4,230	529	2,258	3,499	4,230
	実績	526	2,250	3,529	4,510																
	差異	-1	-4	9	0																
特定教育・保育施設																					
	計画	415	1,864	3,385	655	420	1,891	3,421	515	420	1,881	3,419	515	417	1,871	3,389	375	417	1,868	3,364	375
	実績	415	1,864	3,385	655																
	保育所	415	1,864	3,385																	
	幼稚園				655																
	差異	0	0	0	0																
上記以外の幼稚園																					
	計画				3,855				3,855				3,855				3,855				3,855
	実績				3,855																
	差異				0																
特定地域型保育事業																					
	計画	8	24	0		8	24	0		8	24	0		8	24	0		8	24	0	
	実績	8	24	0																	
	小規模保育	2	8	0																	
	家庭的保育	1	4	0																	
	事業所内保育	5	12	0																	
	居宅訪問型保育	0	0	0																	
	差異	0	0	0																	
認可外保育施設																					
	計画	104	366	135		104	366	135		104	366	135		104	366	135		104	366	135	
	実績	103	362	144																	
	認証保育所	87	354	144																	
	その他	16	8	0																	
	差異	-1	-4	9																	
③差異 (②-①)	量の見込みー確保方策(計画)	2	-49	578	712	14	58	689	670	2	-49	578	712	14	58	689	670	2	-49	578	712
	量の見込みー確保方策(実績)	1	-53	587	712																

		R2年度				R3年度				R4年度				R5年度				R6年度			
		0歳	1・2歳	3-5歳		0歳	1・2歳	3-5歳		0歳	1・2歳	3-5歳		0歳	1・2歳	3-5歳		0歳	1・2歳	3-5歳	
		保育を希望		教育を希望		保育を希望		教育を希望		保育を希望		教育を希望		保育を希望		教育を希望		保育を希望		教育を希望	
		3号	2号	2号	1号	3号	2号	2号	1号	3号	2号	2号	1号	3号	2号	2号	1号	3号	2号	2号	1号
【参考】 待機児童数	全年齢	86																			
	区分別	47	39	0																	

令和2年度 教育・保育の提供 進捗管理表【区域別】（※施策5 主な事業1 (1)実績の別紙）

単位：人

		第1区域			第2区域			第3区域			第4区域			第5区域			第6区域		
		0歳	1・2歳	3-5歳	0歳	1・2歳	3-5歳	0歳	1・2歳	3-5歳	0歳	1・2歳	3-5歳	0歳	1・2歳	3-5歳	0歳	1・2歳	3-5歳
		保育を希望			保育を希望			保育を希望			保育を希望			保育を希望			保育を希望		
		3号		2号	3号		2号	3号		2号	3号		2号	3号		2号	3号		2号
①量の見込み	計画	90	391	536	128	559	736	86	382	394	70	301	312	53	209	339	98	461	625
②確保方策 (定員数)	計画	91	375	606	128	564	849	99	365	535	73	304	398	46	218	426	90	428	706
	実績	99	397	614	125	536	840	84	347	533	82	324	409	46	218	426	90	428	707
	差異	8	22	8	-3	-28	-9	-15	-18	-2	9	20	11	0	0	0	0	0	1
	特定教育・保育施設																		
	計画	83	345	595	109	490	828	54	229	452	57	257	398	34	162	406	78	381	706
	実績	83	345	594	109	490	828	54	229	452	57	257	398	34	162	406	78	381	707
	保育所	83	345	594	109	490	828	54	229	452	57	257	398	34	162	406	78	381	707
	認定こども園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	差異	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	特定地域型保育事業																		
	計画	2	8	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	5	12	0	0	0	0
	実績	2	8	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	5	12	0	0	0	0
	小規模保育	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家庭的保育	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業所内保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	12	0	0	0	0
	居宅訪問型保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	差異	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認可外保育施設																		
	計画	6	22	11	18	70	21	45	136	83	16	47	0	7	44	20	12	47	0
	実績	14	44	20	15	42	12	30	118	81	25	67	11	7	44	20	12	47	0
	認証保育所	8	41	20	10	40	12	25	115	81	25	67	11	7	44	20	12	47	0
	その他	6	3	0	5	2	0	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	差異	8	22	9	-3	-28	-9	-15	-18	-2	9	20	11	0	0	0	0	0	0
③差異 (②-①)	量の見込み－確保方策(計画)	1	-16	70	0	5	113	13	-17	141	3	3	86	-7	9	87	-8	-33	81
	量の見込み－確保方策(実績)	9	6	78	-3	-23	104	-2	-35	139	12	23	97	-7	9	87	-8	-33	82

施策 6	多様な保育ニーズへの対応	計画書の掲載頁	38・39
施策の方向性	多様化する保育ニーズに対応するため、引き続き保育サービスの充実に努めます。休日保育、トワイライトステイ、ショートステイについては、継続して実施します。延長保育、一時預かり・定期利用保育については、新規開設の保育園を中心に拡充を図るほか、私立幼稚園においても幼稚園型一時預かりへの移行を検討します。また、ファミリー・サポート・センター事業については、提供会員の確保に努めます。		

主な事業18	延長保育事業(時間外保育事業)(★)	応	保育所等で、通常の利用日・時間以外に入所児を保育する事業
--------	--------------------	---	------------------------------

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
延長保育事業(時間外保育事業)(★)							
延利用人数	量の見込み	3,182人	3,182人	3,182人	3,182人	3,182人	保育支援課
	実績	2,860人					
	差異	-322人					
	【参考】	実施施設数56施設 午後7時まで35施設 午後8時まで19施設 午後10時まで2施設					

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
- 1 計画から大幅な遅れがあった。
- 2 計画からやや遅れがあった。
- 3 計画通りに事業を実施できた。
- 4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3					保育支援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	全認可保育所において、延長保育をニーズに合わせて実施することができた。					
課題・ 今後の展開	全認可保育所において午後7時以降までの延長保育を継続して実施する。					
審議会の意見	*****					

主な事業19

一時預かり・定期利用保育事業(★)

応

在宅での保育が困難な場合に、主として昼間に保育所、子ども家庭支援センター、その他の場所で一時的に子どもを預かる事業

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
その他の一時預かり事業(一時預かり・定期利用保育事業、トワイライトステイ事業、ファミリー・サポート・センター事業(未就学児))							
延利用人数	量の見込み	31,463人	30,308人	29,326人	28,578人	27,770人	保育支援課 子ども家庭支援課
	実績	16,099人					
	差異	-15,364人					
	【参考】	実施箇所数 34か所					
	一時預かり・定期利用 保育事業	実績	12,086人				保育支援課
		【参考】	実施箇所数 31か所				
	トワイライトステイ事業	実績	2,116人				子ども家庭支援課
		【参考】	実施箇所数 2か所				
	ファミリー・サポート・セ ンター事業(未就学 児)	実績	1,897人				子ども家庭支援課
		【参考】	実施箇所数 1か所				

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
- 1 計画から大幅な遅れがあった。
- 2 計画からやや遅れがあった。
- 3 計画通りに事業を実施できた。
- 4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3(※)					保育支援課 子ども家庭支援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	トワイライトステイ事業及びファミリー・サポート・センター事業については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため在宅勤務が普及したこと等により、利用者数及び活動件数が計画を大幅に下回った。 また一時預かり・定期利用保育事業については、特に1回目の緊急事態宣言が発令されたことを受けて、4月から6月に掛けて大幅に利用者数が減少した結果、延利用人数は計画値を大きく下回ったが、実施箇所数は一定数を確保することができた。					
課題・ 今後の展開	これまでの取組を継続して行うとともに、事業の認知度を高め、必要な家庭に支援が行き届くよう周知広報に取り組み、多様な保育体制の確保を図る。 一時預かり・定期利用保育事業については、これまでの認可保育所の増設や出生者数の減少等に伴い、延利用人数は今後も減少する見通したが、保護者の多様なニーズに対応するという施策の目的を念頭に置き、引き続き実施施設の確保に取り組む。					
審議会の意見	*****					

(※)実績数値は減少しているものの、原因が新型コロナウイルス感染拡大というやむを得ない事由であり、目的に沿った事業展開はできたため。

主な事業20

預かり保育事業(★)

応

幼稚園で、通常の利用日・時間以外に在園児を預かる事業

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
延利用人数	量の見込み	197,598人	192,537人	182,586人	175,422人	166,836人	保育支援課
	実績						
	【参考】	実施箇所数 17か所 (うち5か所は幼稚園型一時預かり事業)					

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
- 1 計画から大幅な遅れがあった。
- 2 計画からやや遅れがあった。
- 3 計画通りに事業を実施できた。
- 4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3					保育支援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	計画どおり市内の全ての私立幼稚園において預かり保育事業を実施することができた。					
課題・今後の展開	本市が助成を行う幼稚園型一時預かり事業の実施園も含めて、引き続き市内の全ての私立幼稚園が預かり事業を担い、保護者のニーズに応えられるよう支援していく。					
審議会の意見	*****					

主な事業21

ショートステイ
(子育て短期支援事業)(★)

応

保護者が出産、疾病などの理由で、一時的に養育が困難な場合に、施設において泊まり掛けで子どもを預かる事業

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
延利用人数	量の見込み	413人	398人	385人	376人	365人	子ども家庭支援課
	実績	77人					
	差異	-336人					
	【参考】	実施箇所数 3か所					

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
- 1 計画から大幅な遅れがあった。
- 2 計画からやや遅れがあった。
- 3 計画通りに事業を実施できた。
- 4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3(※)					子ども家庭支援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	利用の申込みが少なく、利用者数が計画を大幅に下回ったが、保護者の疾病や疲労、出産、出張などで一時的に養育を受けられない子どもの預かりを行い、安心して子育てできる環境づくりに取り組んだ。					
課題・今後の展開	これまでの取組を継続して行い、育児負担の軽減や多様な保育体制の確保を図る。					
審議会の意見	*****					

(※)実績数値は減少しているものの、原因が新型コロナウイルス感染拡大というやむを得ない事由であり、目的に沿った事業展開はできたため。

主な事業22	トワイライトステイ (子育て短期支援事業)(★)	応	保護者が仕事その他の理由により平日の夜間等に養育が困難な場合に、施設において一時的に子どもを預かる事業
--------	-----------------------------	---	---

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
延利用人数(再掲)	実績	2,116人					子ども家庭支援課
	【参考】	実施箇所数 2か所					

※「主な事業 19 一時預かり・定期利用保育事業」の実績に掲載

(2) 評価

【評価基準】

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3(※)					子ども家庭支援課
	令和2年度 の評価理由等					
評価理由	新型コロナの感染拡大防止のため、保護者の在宅勤務が増えたこと等により、利用者数が減少したが、保護者の仕事等で夜間に養育を受けられない子どもの預かりを行い、育児不安の軽減を図った。					
課題・今後の展開	これまでの取組を継続して行うとともに、事業の認知度を高め、必要な家庭に支援が行き届くよう周知広報に取り組み、多様な保育体制の確保を図る。					
審議会の意見	*****					

0 評価不能(実績なし)。

1 計画から大幅な遅れがあった。

2 計画からやや遅れがあった。

3 計画通りに事業を実施できた。

4 計画以上に事業を実施できた。

(※)実績数値は減少しているものの、原因が新型コロナウイルス感染拡大というやむを得ない事由であり、目的に沿った事業展開はできたため。

主な事業23	ファミリー・サポート・センター事業 (子育て援助活動支援事業)(★)	応	子どもの預かり等の提供会員と利用会員による組織を設置し、相互援助活動に関する連絡・調整等を行う事業
--------	---------------------------------------	---	---

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
小学生 延利用人数	量の見込み	1,718人	2,644人	2,661人	2,642人	2,597人	子ども家庭支援課
	実績	908人					
	差異	-810人					
未就学児 延利用人数(再掲)	実績	1,897人					
提供会員数	【参考】	提供会員数 498人					

※未就学児 延利用人数は、「主な事業 19 一時預かり・定期利用保育事業」の実績に掲載

(2) 評価

【評価基準】	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
0 評価不能(実績なし)。	評価	3(※)					子ども家庭支援課
1 計画から大幅な遅れがあった。	令和2年度 の評価理由等						
2 計画からやや遅れがあった。	評価理由	新型コロナの感染拡大防止のため、子どもの習い事が休みになったり保護者の在宅勤務が普及したりしたこと等により、活動件数が計画を下回ったが、会員の登録やマッチングを行い、育児の相互援助活動を支援した。					
3 計画通りに事業を実施できた。	課題・今後の展開	これまでの取組を継続して行うとともに、事業の認知度を高め、必要な家庭に支援が行き届くよう周知広報に取り組み、多様な保育体制の確保を図る。					
4 計画以上に事業を実施できた。	審議会の意見	*****					

(※)実績数値は減少しているものの、原因が新型コロナウイルス感染拡大というやむを得ない事由であり、目的に沿った事業展開はできたため。

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
病児・病後児保育事業(病児保育事業)							
延利用人数	量の見込み	2,271人	2,187人	2,116人	2,062人	2,004人	保育支援課
	実績	528人					
	差異	-1,743人					
	病児・病後児対応型	実績	109人				
		【参考】	実施箇所数 2か所				
	体調不良児対応型	実績	419人				
		【参考】	実施箇所数 5か所				

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
- 1 計画から大幅な遅れがあった。
- 2 計画からやや遅れがあった。
- 3 計画通りに事業を実施できた。
- 4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3(※)					保育支援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年より利用者が減少したものの、必要とされる方にはサービスを提供することができた。					
課題・今後の展開	病児・病後児保育事業を実施している2か所において、事業を継続して実施する。また、保育中の児童を対象とした体調不良児対応型病児保育を実施する保育所に対して、引き続き支援を行う。また、令和3年度に開設予定の都立小児総合医療センターにおける病児・病後児保育事業について、東京都と調整を行っていく。					
審議会の意見	*****					

(※)実績数値は減少しているものの、原因が新型コロナウイルス感染拡大というやむを得ない事由であり、目的に沿った事業展開はできたため。

目標 3 ひとり親家庭への支援

施策7 ひとり親家庭の自立や就業への支援

- 主な事業 25 ひとり親家庭自立支援相談事業
- 26 ひとり親家庭自立支援事業

施策8 ひとり親家庭の経済的負担の軽減

- 主な事業 27 ひとり親家庭等対象手当支給事業
- 28 ひとり親家庭等医療費助成事業

目標 3 ひとり親家庭への支援

施策 7	ひとり親家庭の自立や就業への支援	計画書の掲載頁	40・41
施策の方向性	ひとり親家庭それぞれの状況に応じて、全般的な相談対応ときめ細やかな支援とともに離婚前に必要な養育費などの相談もできるよう、相談体制を充実し、各種支援制度の周知徹底を図ります。また、仕事と子育ての両立ができるように就労支援と家事・育児支援を行い、ひとり親の負担軽減を図るほか、関係機関と連携して子どもの学習支援を検討します。		

主な事業25	ひとり親家庭自立支援相談事業	重 応	ひとり親家庭からの相談に応じ、必要な情報提供や支援を行い、自立を促す事業
--------	----------------	-----	--------------------------------------

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
ひとり親家庭自立支援相談 延相談件数	実績	2,845件					子育て応援課
	【参考】	相談員数6人					

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
- 1 計画から大幅な遅れがあった。
- 2 計画からやや遅れがあった。
- 3 計画通りに事業を実施できた。
- 4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3					子育て応援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	新たな専門職相談員を2名増員し、相談に対応することができた。					
課題・今後の展開	ひとり親家庭の悩みや課題に対応できるよう、ひとり親家庭に特化した情報提供や、経済的な自立支援に向けた体制を整えていく。					
審議会の意見	*****					

主な事業26	ひとり親家庭自立支援事業	応	ひとり親家庭に対して、資格取得の支援や就業支援を行うことで経済的な自立を促すほか、ホームヘルパーを派遣して日常生活の援助を行い、安定した生活が維持できるよう支援する事業
--------	--------------	---	--

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
母子家庭等自立支援教育訓練給付金支給人数	実績	6人					子育て応援課
母子家庭等高等職業訓練促進給付金支給人数	実績	12人					
母子自立支援プログラム 策定人数	実績	15人					
ひとり親家庭ホームヘルプサービス 延利用回数	実績	480回					
ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 支給人数	実績	1人					

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
- 1 計画から大幅な遅れがあった。
- 2 計画からやや遅れがあった。
- 3 計画通りに事業を実施できた。
- 4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3					子育て応援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	ひとり親家庭に対して資格取得の支援や就業支援を行うことができた。					
課題・今後の展開	各事業の周知を図りつつ、ひとり親家庭の経済的な自立支援のため、個々の実情に添った対応ができるよう体制を整えていく。					
審議会の意見	*****					

施策 8	ひとり親家庭の経済的負担の軽減	計画書の掲載頁	42・43
施策の方向性	引き続き、ひとり親家庭に対して各種手当の支給及び医療費の助成を行い、経済的負担の軽減を図るとともに、家計状況が改善できるよう、関係機関と連携して就労支援や家計相談などを行います。		

主な事業27	ひとり親家庭等対象手当支給事業	応	児童扶養手当及び児童育成手当をひとり親家庭に支給する事業
--------	-----------------	---	------------------------------

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
ひとり親家庭等対象手当 延支給人数							
児童扶養手当 全部支給	実績	10,156人					子育て応援課
児童扶養手当 一部支給	実績	7,819人					
児童育成手当(育成手当)	実績	34,463人					
児童育成手当(障害手当)	実績	2,612人					

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
1 計画から大幅な遅れがあった。
2 計画からやや遅れがあった。
3 計画通りに事業を実施できた。
4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3					子育て応援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	引き続き、ひとり親家庭に対して各種手当の支給を行うことができた。					
課題・今後の展開	当該事業は、国や都の法令に基づく制度であるため、動向を注視しつつ対応を図っていく。					
審議会の意見	*****					

主な事業28	ひとり親家庭等医療費助成事業	応	ひとり親家庭の医療費を助成する事業
--------	----------------	---	-------------------

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
ひとり親家庭等医療費助成 延助成件数	実績	30,605件					子育て応援課

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
1 計画から大幅な遅れがあった。
2 計画からやや遅れがあった。
3 計画通りに事業を実施できた。
4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3					子育て応援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	引き続き、ひとり親家庭に対して医療費の助成を行うことができた。					
課題・今後の展開	当該事業は、国や都の法令に基づく制度であるため、動向を注視しつつ対応を図っていく。					
審議会の意見	*****					

目標 4 配慮が必要な子どもと家庭への支援

施策9 児童虐待防止対策の推進

- 主な事業 29 育児支援家庭訪問事業(養育支援訪問事業)(★)
- 30 要保護児童対策地域協議会運営事業
- 31 児童虐待防止の普及啓発事業

施策10 障害児施策との連携

- 主な事業 32 障害等の早期把握・早期対応
- 33 保育所及び学童クラブにおける障害児の受入れ

目標 4 配慮が必要な子どもと家庭への支援

施策 9	児童虐待防止対策の推進	計画書の掲載頁	44・45
施策の方向性	児童虐待に関する認識や知識の普及啓発と併せ、子ども家庭支援センター「たち」を始めとした支援機関の周知を図ります。また、保護者への養育支援などによる育児に関する不安や負担の軽減、児童虐待の未然防止とともに、早期発見・早期対応による重篤化の防止に努めます。そのためには専門的な知識が必要であることから、虐待対応に関する研修などを実施し、相談業務に携わる職員や関係者のスキルアップを図ります。虐待を受けた児童に対するケアについては、関係機関とのネットワークを活用し、充実を図ります。		

主な事業29	育児支援家庭訪問事業 (養育支援訪問事業)(★)	応	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業
--------	-----------------------------	---	---

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
育児支援家庭訪問 訪問世帯数	量の見込み	75世帯	75世帯	75世帯	75世帯	75世帯	子ども家庭支援課
	実績	82世帯					
	差異	7世帯					
	【参考】	延訪問回数 1,037回					

(2) 評価

【評価基準】

0 評価不能(実績なし)。

1 計画から大幅な遅れがあった。

2 計画からやや遅れがあった。

3 計画通りに事業を実施できた。

4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3					子ども家庭支援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	保育士等の専門資格を有する訪問員を派遣し、育児等の支援を行い、育児不安・負担の解消に努めた。前年度より訪問世帯数、延べ訪問回数ともに増加した。					
課題・今後の展開	これまでの取組を継続して行い、育児不安の解消を図り、児童虐待の防止を目指す。					
審議会の意見	*****					

主な事業30	要保護児童対策地域協議会運営事業	応	関係機関において要保護児童に関する情報共有や協力要請、児童虐待防止の体制整備等を行う事業
--------	------------------	---	--

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
要保護児童対策地域協議会 開催回数							
代表者会議	実績	1回(資料送付のみ)					子ども家庭支援課
実務者会議件児童虐待相談事例進行管理会議	実績	3回(うち資料送付のみ1回)					
児童相談所との児童虐待相談進行管理会議	実績	4回					
支援プラン会議	実績	12回					
個別ケース検討会議	実績	163回					
事例検討会	実績	22回					
講演会等 開催回数							
市民向けの子育て支援講演会	実績	1回					子ども家庭支援課
関係機関向け研修会	実績	1回					
内部研修会 開催回数	実績	2回					
虐待等相談 延相談件数							
児童虐待相談	実績	401件					子ども家庭支援課
養育困難相談	実績	985件					

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
- 1 計画から大幅な遅れがあった。
- 2 計画からやや遅れがあった。
- 3 計画通りに事業を実施できた。
- 4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3					子ども家庭支援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	要保護児童対策地域協議会を開催し、関係機関との連携強化や要支援家庭へのきめ細やかなサービス提供を行った。また、研修会や事例検討会を開催し、職員の専門性向上を図った。					
課題・今後の展開	これまでの取組を継続して行い、児童虐待防止ネットワークを構築して、児童虐待の未然防止及び早期発見・早期対応による重篤化防止を図る。					
審議会の意見	*****					

主な事業31	児童虐待防止の普及啓発事業	応	ポスター掲示、イベント時の普及啓発グッズやチラシ配布など児童虐待防止の普及啓発を行う事業
--------	---------------	---	--

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
イベント時等での児童虐待防止の普及啓発グッズの配布 回数	実績	0回					子ども家庭支援課

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
- 1 計画から大幅な遅れがあった。
- 2 計画からやや遅れがあった。
- 3 計画通りに事業を実施できた。
- 4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3(※)					子ども家庭支援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	児童虐待防止推進月間に合わせて、ポスター掲示等の協力依頼は行えたが、新型コロナの感染拡大防止のため開催中止となったことにより、イベント等でのグッズ配布は行えなかった。					
課題・今後の展開	これまでの取組を継続して行うとともに、現地開催のイベントに頼らない普及啓発の方法を検討し、普及啓発を通じて児童虐待の防止を図る。					
審議会の意見	*****					

(※)実績数値は減少しているものの、原因が新型コロナウイルス感染拡大というやむを得ない事由であり、目的に沿った事業展開はできたため。

施策 10	障害児施策との連携	計画書の掲載頁	46・47
施策の方向性	保健センター、子ども家庭支援センターを始め保育所、幼稚園などの子ども・子育てを支援する関係機関は、引き続き、障害児(者)相談支援事業者との連携強化を図り、障害等の早期把握をするとともに、療育が必要な子どもや障害児、その家族に対するきめ細やかな支援を行います。なお、令和6年4月に開設予定の児童発達支援センター(仮称)との連携の在り方について検討を進めます。 また、保育所におけるすくすく保育、学童クラブにおける障害児の受入れ枠を引き続き確保するとともに、受け入れた障害児に対する支援の質の向上や落ち着いて過ごせる環境の確保に努めます。		

主な事業32	障害等の早期把握・早期対応	応 保健センターや子ども家庭支援センター「たっち」等子ども・子育てを支援する関係機関において、保護者への相談支援や適切な支援へのつなぎなど、療育が必要な子どもや障害児の早期把握・早期対応を図る事業
--------	---------------	---

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
心身障害者福祉センターの相談件数等							
発達相談 延件数	実績	2,677件					障害者福祉課
外来グループ指導	実績	319件					
専門職個別指導等 延件数	実績	164件					
関係機関支援 延件数	実績	0件					
保育所等へ訪問支援 延件数	実績	21件					
指定障害児相談支援 延件数	実績	290件					
子ども家庭支援センターの相談件数等							
障害を主訴とする相談件数	実績	19件					子ども家庭支援課
保健センターの相談件数等							
乳幼児健康診査経過観察延人数	実績	65人					子ども家庭支援課
精密健康診査 延人数	実績	68人					
発達健康診査 延人数	実績	44人					
心理・ことばの相談件数	実績	455件					
幼児教室参加者	実績	69人					
保育所等 臨床心理士等の巡回回数	実績	289回					保育支援課
公立幼稚園 特別支援枠数	実績	5人(2園)					学務保健課

(2) 評価

【評価基準】 0 評価不能(実績なし)。 1 計画から大幅な遅れがあった。 2 計画からやや遅れがあった。 3 計画通りに事業を実施できた。 4 計画以上に事業を実施できた。	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課	
	評価	3					障害者福祉課 子ども家庭支援課 保育支援課 学務保健課	
	令和2年度 の評価理由等							
	評価理由	【心身障害者福祉センター】 新型コロナ感染拡大防止の観点から事業休止期間が生じたことにより、相談支援を除き、当初想定していた実績に達しなかった。 【子ども家庭支援センター】 障害を主訴とする相談に対し、適切な療育機関を紹介するなど、関係機関と連携して支援を行った。 【保健センター 】コロナ禍でも内容を工夫し、ほぼ計画どおりに実施することができた。 【保育所等】 計画どおり臨床心理士等による巡回相談を実施することができた。 【公立幼稚園】 引き続き、発達に遅れや不安のある園児の受け入れをして、発達の状況に応じた適切な幼児教育を実施した。						
	課題・今後の展開	【心身障害者福祉センター】 関係機関との連携による支援体制を一層強固なものとし、早期からの切れ目のない支援の実施に努める。 【子ども家庭支援センター】 引き続き、関係機関と連携して支援を行い、療育が必要な子どもの早期発見・早期対応を図る。 【保健センター】 療育の受け皿が少ないことは継続した課題となっている。地区担当と事業担当で協力し、他課とのネットワークをつくりながら、保護者が児の発達段階を理解し、必要なサポートが受けられるように支援していく。 【保育所等】 巡回相談事業については、各園のニーズを捉えながら継続していく。 【公立幼稚園】 発達に遅れの疑いがある園児が、一般枠で入園するケースが見受けられるため、保護者や関係機関と情報共有しながら、支援を必要とする園児に適切な支援が行き届くように対応していく。						
	審議会の意見	*****						

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
保育所及び学童クラブにおける障害児の受入れ							
保育所 公立	実績	43人					保育支援課
保育所 私立	実績	81人					
学童クラブ	実績	121人					児童青少年課

(2) 評価

【評価基準】 0 評価不能(実績なし)。 1 計画から大幅な遅れがあった。 2 計画からやや遅れがあった。 3 計画通りに事業を実施できた。 4 計画以上に事業を実施できた。	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課	
	評価	3					保育支援課 児童青少年課	
	令和2年度 の評価理由等							
	評価理由	【保育所】 計画どおり障害児を対象とするすくすく保育を実施することができた。 【学童クラブ】 期限内の障害児枠への申込者については、全員希望する学童クラブで受入れることができたため。また、身体障害児用の手すりの設置や遊具の工夫など、障害児が安心安全に過ごせるよう環境整備を行ったため。						
	課題・ 今後の展開	【保育所】 引き続き、私立保育園の協力も得ながら新規入所希望者向けの枠を確保するとともに、在園児童に対する職員の加配や専門家の巡回相談により質の向上を図る。 【学童クラブ】 障害児枠としての受入れの定義について、入会案内や入会申込書の文言整理等により明確化させていく。						
	審議会の意見	*****						

目標 5 青少年の健全育成

施策11 小学生の放課後の居場所づくり

主な事業 34 学童クラブ事業(放課後児童健全育成事業)(★)

35 放課後子ども教室事業

施策12 青少年健全育成活動の推進

主な事業 36 青少年健全育成事業

37 青少年総合相談運営事業

目標 5 青少年の健全育成

施策 11	小学生の放課後の居場所づくり	計画書の掲載頁	48・49
施策の方向性	学童クラブ及び放課後子ども教室を引き続き実施し、定期的な会議の開催や合同事業の実施等により、両事業の更なる連携を図るとともに、共働き家庭等の児童を含めた全ての児童が、放課後等を安全・安心に過ごし、様々な体験や活動ができる環境の整備を図ることにより、「新・放課後子ども総合プラン」を推進します。 学童クラブにおいては、母親の約半数が午後6時台に帰宅している実態を踏まえ、保護者のニーズに対応するため、育成時間の延長に取り組めます。また、育成時間延長に伴い必要となる指導員の人員確保策を含め、民間活力の導入を視野に入れた運営形態の見直しを検討します。適正な育成面積の確保策については、仮設建築物の設置などの取組を引き続き検討するとともに、学校施設改築等の機会を捉え、関係部署との連携により、放課後子ども教室実施場所の確保策とともに検討します。 また、文化センターの児童館では、引き続き地域における安全な居場所を提供するとともに、児童の健康を増進し、情操を豊かにするため、遊びや体験活動を行います。		
主な事業34	学童クラブ事業 (放課後児童健全育成事業)(★)	重 応	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
学童クラブ 入会人数	量の見込み	2,385人	2,405人	2,387人	2,337人	2,301人	児童青少年課
	実績	2,196人					
	差異	189人					
	1年生	量の見込み	744人	771人	744人	707人	
		実績	835人				
	2年生	量の見込み	650人	635人	658人	635人	
		実績	747人				
	3年生	量の見込み	503人	518人	506人	524人	
		実績	539人				
	4年生	量の見込み	198人	186人	192人	188人	
		実績	50人				
	5年生	量の見込み	158人	160人	151人	155人	
		実績	17人				
	6年生	量の見込み	132人	135人	136人	128人	
		実績	8人				

※学童クラブと放課後子ども教室の2事業により対応

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
- 1 計画から大幅な遅れがあった。
- 2 計画からやや遅れがあった。
- 3 計画通りに事業を実施できた。
- 4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3					児童青少年課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	小学校3年生までについては、要件を満たす申込者全員を受入れた。4年生以上は実績が計画を下回っているが、第1希望の学童クラブに入れず19人の待機児童が出た。当該児童については放課後子ども教室で受け入れを行った。					
課題・今後の展開	年々児童数が増加傾向にある中で、育成面積が十分に確保できていない学童クラブがあるため、その対策が求められている。また、令和3年度以降は一部学童クラブの運営を民間事業者に委託しており、安定的な運営を目指していく。					
審議会の意見	働き方が多様化する中で、今の入会の規定は見直しが必要なのではないか。					

（１）実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
放課後子ども教室 登録人数	実績	3,368人					児童青少年課

※計画値に対しては、学童クラブと放課後子ども教室の2事業により対応

（２）評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
- 1 計画から大幅な遅れがあった。
- 2 計画からやや遅れがあった。
- 3 計画通りに事業を実施できた。
- 4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3(※)					児童青少年課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、放課後子ども教室の臨時休業を行ったため。					
課題・今後の展開	感染症対策を適切に行い、学童クラブとの連携をはかりながら、児童の安全・安心な居場所の確保に努める。					
審議会の意見	空き教室の状況などが学校によってばらつきがあるので、安定した場所が確保できるとよい。					

(※)実績数値は減少しているものの、原因が新型コロナウイルス感染拡大というやむを得ない事由であり、目的に沿った事業展開はできたため。

施策 12	青少年健全育成活動の推進	計画書の掲載頁	50・51
施策の方向性	家庭、学校、地域、警察等と連携し、青少年が地域の中で健やかに成長できるよう支援します。また、青少年が犯罪や事故に巻き込まれることがないよう環境浄化活動や見守り活動を継続的に実施するとともに、インターネットやSNSに起因する問題への対応など、青少年を取り巻く環境の変化に柔軟に対応した青少年健全育成活動を推進します。 また、若者の自立支援については、若者やその家族が抱える問題が複雑化・深刻化する前に相談できるよう、相談窓口の周知とともに、利用しやすい環境づくりを行います。		

主な事業36	青少年健全育成事業	青少年対策地区委員会や健全育成協力店等の関連団体と連携し、青少年を取り巻く社会環境の浄化、非行防止、青少年の多世代交流の機会提供などの取組を推進する事業
--------	-----------	---

（１）実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
子ども緊急避難の家登録件数	実績	1,725件					児童青少年課
青少年健全育成協力店登録件数	実績	142件					
青少年対策地区委員会事業実施回数	実績	192回					

（２）評価

【評価基準】

0 評価不能(実績なし)。	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
1 計画から大幅な遅れがあった。	評価	3(※)					児童青少年課
2 計画からやや遅れがあった。	令和2年度 の評価理由等						
3 計画通りに事業を実施できた。	評価理由	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一部イベント、講演会等の事業を中止し、パトロール等の環境浄化活動を中心に事業を実施したため。					
4 計画以上に事業を実施できた。	課題・ 今後の展開	インターネット等を活用しつつ、感染症等の社会状況に応じた青少年対策地区委員会の活動が実施できるよう事業を推進していく。					
	審議会の意見	*****					

(※)実績数値は減少しているものの、原因が新型コロナウイルス感染拡大というやむを得ない事由であり、目的に沿った事業展開はできたため。

主な事業37	青少年総合相談運営事業	子ども・若者育成支援推進法の基本理念にのっとり、若者の育成支援に関する相談を実施するとともに、社会生活に困難を抱える子ども・若者に対し、庁内関係課、NPO等の関係機関との連携により自立を支援する事業
--------	-------------	--

（１）実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
青年の抱える悩みに関する相談人数	実績	6人					児童青少年課

（２）評価

【評価基準】

0 評価不能(実績なし)。	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
1 計画から大幅な遅れがあった。	評価	3					児童青少年課
2 計画からやや遅れがあった。	令和2年度 の評価理由等						
3 計画通りに事業を実施できた。	評価理由	令和2年度からひきこもり等に関する相談を生活困窮者自立支援制度の「暮らしとしごとの相談コーナー」に移行し、19歳から29歳までの青年の抱える悩みに関する相談を実施した。					
4 計画以上に事業を実施できた。	課題・今後の展開	スマートフォンのアプリ等を活用し、青少年等の悩みに応じて相談窓口を案内する環境を整えることで、相談を利用しやすいものとし、悩み等を抱える青少年が早期に必要な支援につながるようにする。					
	審議会の意見	*****					

目標 6 子育て家庭の経済的負担の軽減

施策13 生活に関わる経済的負担の軽減

- 主な事業 38 児童手当支給事業
- 39 子ども医療費助成事業

施策14 幼児教育・保育に関わる経済的負担の軽減

- 主な事業 40 認可外保育施設入所児童に関する補助事業
- 41 私立幼稚園等就園児に関する補助事業
- 42 実費徴収に係る補足給付を行う事業

目標 6 子育て家庭の経済的負担の軽減

施策 13	生活に関わる経済的負担の軽減	計画書の掲載頁	52・53
施策の方向性	子育て中の家庭に対し、引き続き児童手当の支給及び子ども医療費の助成を行うことで、経済的負担の軽減を図ります。		

主な事業38	児童手当支給事業	応	中学校3年生(15歳に達する日以後の最初の3月31日)までの児童がいる家庭を対象に児童手当を支給する事業
--------	----------	---	--

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
児童手当 支給延人数	実績	376,469人					子育て応援課

(2) 評価

【評価基準】

0 評価不能(実績なし)。	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
1 計画から大幅な遅れがあった。	評価	3					子育て応援課
2 計画からやや遅れがあった。	令和2年度 の評価理由等						
3 計画通りに事業を実施できた。	評価理由	子育て中の家庭に対し、引き続き児童手当の支給を行うことで、経済的負担の軽減を図ることができた。					
4 計画以上に事業を実施できた。	課題・今後の展開	当該事業は、国の法令等に基づき実施しているため、動向に注視しながら対応する。					
	審議会の意見	*****					

主な事業39	子ども医療費助成事業	応	中学校3年生(15歳に達する日以後の最初の3月31日)までの児童を対象に、医療費の助成を行う事業
--------	------------	---	--

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
乳幼児医療費助成件数	実績	199,408人					子育て応援課
義務教育就学児医療費助成件数	実績	224,382人					

(2) 評価

【評価基準】

0 評価不能(実績なし)。	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
1 計画から大幅な遅れがあった。	評価	3					子育て応援課
2 計画からやや遅れがあった。	令和2年度 の評価理由等						
3 計画通りに事業を実施できた。	評価理由	子育て中の家庭に対し、引き続き子ども医療費の助成を行うことで、経済的負担の軽減を図ることができた。					
4 計画以上に事業を実施できた。	課題・今後の展開	医療費助成については、他市に比べて充実した内容であるため、現状のまま継続していく。					
	審議会の意見	*****					

施策 14	幼児教育・保育に関わる経済的負担の軽減	計画書の掲載頁	54・55
施策の方向性	幼児教育・保育に係る子育てのための施設等利用給付を適正に行うとともに、認可外保育施設利用者や私立幼稚園利用者に対する補助を引き続き行い、幼児教育・保育に関わる経済的負担の軽減を図ります。		

主な事業40	認可外保育施設入所児童に関する補助事業	応	認証保育所等の認可外保育施設を利用する児童の保護者に対して、保育料を助成することにより、保護者の負担の軽減を図る事業
--------	---------------------	---	--

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
施設等利用費延支給人数(保育園)	実績	2,814人					保育支援課
認可外保育施設入所児童保護者補助金延支給人数	実績	7,789人					保育支援課

(2) 評価

【評価基準】

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3					保育支援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	計画どおり認可外保育施設を利用する保護者の負担軽減を図ることができた。					
課題・ 今後の展開	引き続き、幼児教育・保育の無償化に基づく施設等利用費を給付するとともに、認可外保育施設や企業主導型保育施設を利用する保護者に対する助成を継続する。					
審議会の意見	*****					

主な事業41	私立幼稚園等就園児に関する補助事業	応	私立幼稚園等に入園及び在籍する幼児の保護者に対して、保育料及び入園料等を助成することにより、保護者の負担の軽減を行い、幼児教育の振興と充実を図る事業
--------	-------------------	---	--

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
施設等利用費延支給人数(幼稚園)	実績	43,132人					保育支援課
私立幼稚園等入園料補助金支給人数	実績	1,124人					
私立幼稚園等保育料補助金支給人数	実績	40,373人					

(2) 評価

【評価基準】

0 評価不能(実績なし)。
1 計画から大幅な遅れがあった。
2 計画からやや遅れがあった。
3 計画通りに事業を実施できた。
4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3					保育支援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	計画どおり私立幼稚園を利用する保護者の負担軽減を図ることができた。					
課題・ 今後の展開	引き続き、未移行幼稚園の利用や預かり保育に係る施設等利用費を給付するとともに、私立幼稚園を利用する保護者に対する保育料及び入園料の助成を継続する。					
審議会の意見	*****					

主な事業42	実費徴収に係る補足給付を行う事業	応	世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に保護者が支払うべき日用品や文房具等教育・保育に必要な物品の購入、行事への参加に要する費用等及び子ども・子育て支援新制度未移行幼稚園に保護者が支払うべき食事の提供にかかる費用(副食材料費)を助成する事業
--------	------------------	---	---

(1) 実績

項目	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
給付施設数	実績	26か所					保育支援課

(2) 評価

【評価基準】

- 0 評価不能(実績なし)。
- 1 計画から大幅な遅れがあった。
- 2 計画からやや遅れがあった。
- 3 計画通りに事業を実施できた。
- 4 計画以上に事業を実施できた。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当課
評価	3					保育支援課
令和2年度 の評価理由等						
評価理由	計画どおり幼稚園を利用する保護者の負担軽減を図ることができた。					
課題・今後の展開	引き続き、未移行幼稚園を利用する低所得世帯の副食費相当分に加え、新制度移行幼稚園を利用する生活保護受給世帯に対する実費徴収分の助成を継続する。					
審議会の意見	*****					

3 参考（府中市子ども・子育て審議会について）

（１）令和３年度府中市子ども・子育て審議会開催記録（令和３年８月時点）

回	開催日	主な内容
第１回	令和３年７月７日（水）	○ 令和２年度第２次府中市子ども・子育て支援計画の進捗状況と評価等について
第２回	令和３年８月６日（金）	○ 令和２年度第２次府中市子ども・子育て支援計画の進捗状況と評価等について

(2) 府中市子ども・子育て審議会条例

平成25年6月24日

条例第25号

(趣旨)

第1条 この条例は、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号。以下「法」という。）第77条第1項及び第3項の規定に基づき、府中市子ども・子育て審議会（以下「審議会」という。）を設置し、その組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(用語)

第2条 この条例において使用する用語は、法において使用する用語の例による。

(所掌事務)

第3条 審議会は、法第77条第1項に規定する事務を処理するほか、市長の諮問に応じ、児童福祉法（昭和22年法律第164号）第34条の15第4項の規定により同条第2項の認可に際し意見を述べ、並びに地域の子ども及び子育て家庭の実情を十分に踏まえつつ、子ども・子育て支援に関する事項について調査審議する。

(組織)

第4条 審議会は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する委員（臨時委員を除く。次条、第7条第1項及び第9条第2項において同じ。）20人以内をもって組織する。

- (1) 子どもの保護者
- (2) 事業主を代表する者
- (3) 労働者を代表する者
- (4) 子ども・子育て支援に関する事業等に携わる者
- (5) 子ども・子育て支援に関し学識経験のある者
- (6) 公募による市民

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、2年とし、再任されることを妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補充の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(臨時委員)

第6条 審議会に、特別の事項を調査審議させるため必要があるときは、臨時委員を置くことができる。

2 臨時委員は、市長が委嘱する。

3 臨時委員は、当該特別の事項の調査審議が終了したときは、解任されるものとする。

(会長及び副会長)

第7条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれらを定める。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第8条 審議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 審議会は、過半数の委員の出席がなければ会議を開くことができない。
3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会)

第9条 審議会は、その定めるところにより、部会を置くことができる。

- 2 部会に属すべき委員及び臨時委員は、会長が指名する。
3 審議会は、その定めるところにより、部会の議決をもって審議会の議決とすることができる。

(委員以外の者の出席)

第10条 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を聴き、又は説明を求めることができる。

(委任)

第11条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が定める。

付 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
(非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)
2 非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例(昭和31年12月府中市条例第28号)の一部を次のように改正する。
別表第1に次のように加える。

子ども・子育て審議会委員	日額 11,000円
--------------	------------

付 則 (平成27年3月13日条例第10号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

(3) 府中市子ども・子育て審議会委員名簿

※R3.8.6現在

(選出区分別の50音順・敬称略)

	氏 名	選出区分	役職名等	備考
1	おいかわみちほ 及川 道歩	子どもの保護者(公募市民)		
2	もり ゆ か 森 由香	子どもの保護者(公募市民)		
3	み き たかひろ 三木 貴宏	子どもの保護者	府中市立小中学校PTA連合会	
4	うすい ただし 臼井 正	事業主代表	むさし府中商工会議所 常議員	
5	く ぼ かつひと 久保 克 公	労働者代表	連合三多摩・東部第二地区協議会 副議長 (東芝労働組合府中支部 執行委員)	
6	うえまつ まさかず 植松 政数	子ども・子育て支援関係団体	NPO法人 トータルサポート府中 事務局長	
7	たなか こう 田中 公	子ども・子育て支援関係団体	東京都認証保育所府中市連絡会 会長 (田中保育所 代表)	
8	つつい たかとし 筒井 孝敏	子ども・子育て支援関係団体	府中市自治会連合会 副会長	
9	なかだ く る み 中田 公留実	子ども・子育て支援関係団体	公益社団法人 府中市シルバー人材センター	
10	なかだ なるひこ 中田 徳彦	子ども・子育て支援関係団体	府中市青少年委員会 会長 (府中天神町幼稚園 園長)	
11	はたけやまきょうこ 畑山 恭子	子ども・子育て支援関係団体	社会福祉法人 多摩同胞会 子ども家庭支援センターしらとり・たち 統括センター長	
12	はやし ひ で こ 林 比典子	子ども・子育て支援関係団体	府中市民生委員児童委員協議会 第2地区会長	
13	ひきた かおる 轟田 薫	子ども・子育て支援関係団体	認定NPO法人 育て上げネット 執行役員	
14	ひらた よしゆき 平田 嘉之	子ども・子育て支援関係団体	府中市私立幼稚園協会 顧問 (府中白糸台幼稚園 園長)	副会長
15	ほり せいいち 堀 誠一	子ども・子育て支援関係団体	府中市立小学校長会 (府中市立武蔵台小学校 校長)	
16	めとき す み こ 目時 寿美子	子ども・子育て支援関係団体	府中市私立保育園園長会 副会長 (第2府中保育園 園長)	
17	よしだ おさむ 吉田 修	子ども・子育て支援関係団体	府中市立中学校長会 (府中市立府中第九中学校 校長)	
18	わだ ゆ み 和田 有美	子ども・子育て支援関係団体	社会福祉法人 府中市社会福祉協議会 地域福祉部地域活動推進課 まちづくり推進係長	
19	しおみ としゆき 汐見 稔幸	学識経験者	東京大学 名誉教授	会長
20	やまざき ふみえ 山崎 史衣	公募市民		

令和2年度
第2次府中市子ども・子育て支援計画
進捗状況等報告書

令和3年9月

発行：府中市子ども家庭部子育て応援課